

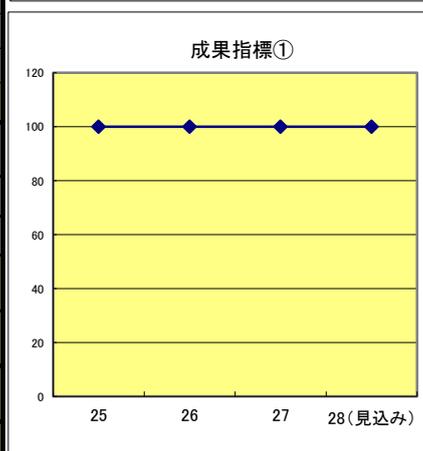
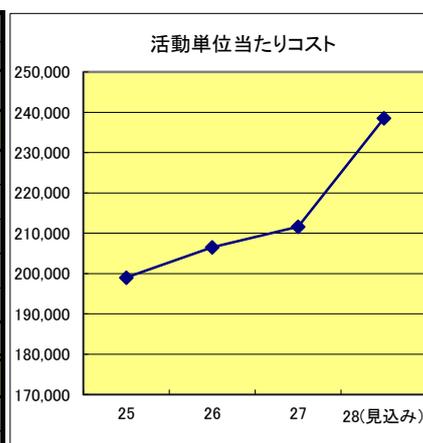
平成 28 年度 事務事業評価シート (平成 27 年度実施事業)

整理番号

保保07

事務事業名		障害者医療費助成事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	3	民生費
	施策(節)	1	保健・医療		項	1	社会福祉費
	施策の方向	(5)	医療保険制度の充実		目	8	身体障害者、知的障害者医療費
関連する計画等				事業	1	身体障害者、知的障害者医療費	
事業の概要(目的・内容)				作成部署	保健福祉部保険健康室保険年金課		
根拠法令等				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 1330		
事業期間				<input checked="" type="checkbox"/> 10年以上 <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 <input type="checkbox"/> 5年未満 (平成 年度開始)			
事業開始時からの状況変化				府補助率の引き下げ、助成件数の増加			
実施手法				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )			
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称( ) <input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容			
		<input type="checkbox"/> その他					

区分		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込み)	
事業費【1】	(千円)	171,495	176,012	176,262	196,173	
人件費【2】	(千円)	3,450	3,478	3,589	3,691	
職員数	正規職員	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
	再任用職員	人	人	人	人	
	嘱託員	人	人	人	人	
	臨時職員	人	人	人	人	
	非常勤職員	人	人	人	人	
超過勤務(参考)	(時間)	時間	時間	時間	時間	
総事業費【(1)+(2)】【A】	(千円)	174,945	179,490	179,851	199,864	
財源内訳	国庫支出金	(千円)				
	府支出金	(千円)	74,261	73,348	72,594	75,377
	市債	(千円)				
	その他(使用料・手数料等)	(千円)				
	一般財源【B】	(千円)	100,684	106,142	107,257	124,487
活動指標(事業の活動実績)【C】	単位	25年度	26年度	27年度	28年度(見込み)	
① 対象者数	人	879	869	850	838	
② 助成件数	件	22,523	23,205	22,763	22,860	
活動単位当たりコスト		199,027 円	206,547 円	211,589 円	238,501 円	
(【A】÷【C】①)						
活動単位当たり一般財源額		114,544 円	122,142 円	126,185 円	148,553 円	
(【B】÷【C】①)						
市民1人当たりコスト		1,502 円	1,554 円	1,569 円	1,757 円	
(【A】÷人口)						
一般財源【B】の推移(前年度比)			5.4 %	1.1 %	16.1 %	
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 制度改正・事業の見直しなど <input type="checkbox"/> 2. 左記1によらない対象件数などの増減 <input type="checkbox"/> 3. 物価・賃金水準などの変動 <input type="checkbox"/> 4. 国庫支出金など特定財源の増減 <input type="checkbox"/> 5. その他( )				
※該当項目すべてに						



成果指標	指標名	単位	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①	必要な対象者に対する助成の割合 (式又は説明)	%	100	100	100	100	100	100	100	100
							達成率(%)	100.0%		
②	(式又は説明)		目標							
			実績					達成率(%)		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ			該当なし	分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし					
妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪府内の他市と比べても現状が妥当であり、改正の必要はない。				
	市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪府内の市町村で統一されている現在の医療証による現物給付は、効率よく実施され、制度についても府内の医療機関において定着している。また、医療証による現物給付の適用がない府外受診においても現金給付も特に問題なく取り扱っている。				
	使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	国・府の事業や市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	医療機関での医療証の提示、各種変更喪失による届出等、おおむね協力を得られている。				
有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障害者が安心して暮らせる街づくりの推進のためにも必要不可欠である。				
達成度	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基準に基づき適正に助成を行っている。				

担当部局評価	総合評価			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
	（概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）			
今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）				
国・府の動向を見ながら、適宜、改善・取組みを行うものとする。そして、国に対しては、制度の創設を要望し、大阪府には、入院時食事代についても助成対象となるよう要望していく。 また、平成29年1月から、訪問看護利用料を1割負担から1回500円で上限2回までの負担で利用できるように改定し、さらなる制度の充実を図っている。				

行革本部評価	総合評価		評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	
	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	